

## 鹿児島県三島村黒島における蚊の分布調査

野田伸一

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

### Survey of Mosquito Larvae on Kuro Island, Mishima Village, Kagoshima Prefecture

NODA Shinichi

Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University

**要旨：**鹿児島県三島村黒島における蚊の分布調査を2010年5月に実施した。片泊の2ヶ所と大里の6ヶ所で蚊の幼虫を採集した。幼虫の生息していた場所は様々な形状のプラスチック容器と古タイヤであった。採集された蚊はヤマトヤブカ (*Aedes japonicus*) トウゴウヤブカ (*Aedes togoi*)、リバーズシマカ (*Aedes riversi*)、およびヤマトクシヒゲカ (*Culex sasai*) の4種類であった。

**Abstract:** The survey of mosquitoes on Kuro Island, Mishima Village, Kagoshima Prefecture, was carried out in May 2010. Mosquito larvae were collected at 2 sites in Katadomari and 6 sites in Osato. Larvae inhabited various sized plastic containers and an old tire. Four species of mosquito larvae were collected: *Aedes japonicas*, *Aedes togoi*, *Aedes riversi* and *Culex sasai*.

鹿児島県黒島における蚊の分布調査を2010年5月に実施した。今回の調査は島の西側にある片泊と東側にある大里の一部の地域のみになった。蚊の幼虫が生息していたのは全て人工容器で、様々な形状のプラスチック容器と古タイヤで、片泊の2ヶ所と大里の6ヶ所で蚊の幼虫を採集した。各種の容器に生息している幼虫をピペットでサンプル瓶に移し、船に持ち帰った後70%アルコールで固定し、種類を同定するまで保存した。サンプルの一部をスライド標本にし、顕微鏡下で観察して種類の同定を行った。

採集結果を表1に示した。採集された蚊はヤマトヤブカ (*Aedes japonicus*) トウゴウヤブカ (*Aedes togoi*)、リバーズシマカ (*Aedes riversi*) およびヤマトクシヒゲカ (*Culex sasai*) の4種類であった。もっとも多くの個体が採集されたのはトウゴウヤブカで、片泊の公共施設の横に置かれた大型のプラスチック容器と大里港の海岸におかれた黄色水タンクに生息していた。リバーズシマカは沖縄・奄美で極めて普通な種類で、樹洞・岩穴のほか、墓石花立て・竹切株など広範囲の容器から発生する。本種は両地域の合計3ヶ所採集され、黒島でも優占種となっていると考えられた。

表 1. 黒島での蚊幼虫採集成績

採集地区	採集場所	ヤマトヤブカ	トウゴウヤブカ	リバーズシマカ	ヤマトクシヒゲカ
片泊	プラスチック容器			2	
	プラスチック容器大型		4		
大里	ポリバケツ				20
	プラスチック容器	2		2	
	古タイヤ			1	
	水タンク 1		1		
	水タンク 2		46		
	水タンク 3		68		
合 計		3	119	5	20